

砂防ダムは、 私たちの暮らしを守る 陰の力持ち

日本一の暴れ川、黒部川。

過去に幾度となく
流域の人々に甚大な被害をもたらし、
恐れられたこの川は、もう昔の川とは違います。

今では黒部川支流の崩壊地に
いくつも設置された砂防ダムが、
災害を未然に防ぎ、
黒部峡谷の自然を守っているのです。

人里離れた上流に作られることが多く、
私たちの目に触れることは
めったにない砂防ダムですが、
私たちの暮らしを守る
陰の力持ちといった存在です。

砂防ダムとは？

大きな機能は二つ。

1 流れてくる土砂を貯めて、
流れを緩やかにし、
山脚の浸食を抑えます。

2 集中豪雨などによる大量の流出土砂を貯め、
平常時は少しずつ土砂を流して
急激な土砂の流出を防ぎます。

ダム名		立積	計画貯砂量
① 祖母谷川災害復旧砂防ダム	昭和56年11月竣工	4,100m ³	85,300m ³
② 祖母谷下流砂防ダム	昭和45年11月竣工	5,300m ³	34,500m ³
③ 祖母谷下流第2号砂防ダム	計画中	3,350m ³	50,000m ³
④ 祖母谷第1号砂防ダム	昭和42年11月竣工	8,800m ³	688,200m ³
⑤ 祖母谷第2号砂防ダム	昭和47年11月竣工	12,800m ³	197,200m ³
⑥ 祖母谷第3号砂防ダム	昭和52年11月竣工	20,900m ³	165,500m ³
⑦ 祖母谷第4号砂防ダム	昭和55年11月竣工	15,100m ³	220,400m ³
⑧ 祖母谷第5号砂防ダム	昭和58年11月竣工	12,700m ³	46,100m ³
⑨ 祖母谷第6号砂防ダム	昭和61年11月竣工	7,200m ³	100,400m ³
⑩ 祖母谷第7号砂防ダム	平成5年10月竣工	17,900m ³	60,200m ³
⑪ 黒部川第1号砂防ダム	昭和48年11月竣工	4,200m ³	73,700m ³
⑫ 黒部川第1号上流砂防ダム	昭和59年11月竣工	7,900m ³	50,500m ³
⑬ 黒部川第2号砂防ダム	昭和54年11月竣工	13,500m ³	271,800m ³
⑭ 黒部川第3号砂防ダム	平成2年11月竣工	6,700m ³	138,700m ³
⑮ 黒部川第4号砂防ダム	施工中	12,900m ³	103,500m ³
⑯ 野坊瀬谷第2号砂防ダム	昭和54年1月竣工	1,100m ³	2,700m ³
⑰ 野坊瀬谷第3号砂防ダム	昭和54年12月竣工	1,500m ³	13,900m ³
⑱ 小黒部谷第1号砂防ダム	施工中	11,400m ³	22,600m ³
⑲ 小黒部谷第2号砂防ダム	施工中	26,800m ³	—



自然や景観に配慮した 黒部川の渓流環境整備計画を たてました。

従来の砂防事業では、緊急性・経済性を優先するあまり、
砂防施設周辺の自然環境や景観への配慮に欠ける施設が数多くみられました。
しかし、最近では自然環境に対する世論の高まりを背景に平成5年に「環境基本法」が成立し、
これを踏まえて「環境政策大綱」が策定されました。
これは建設省の環境政策の基本的な考え方を明らかにしたものです。
渓流環境整備計画（砂防）は、その一計画として位置づけられ、
黒部川流域における砂防事業の将来像を念頭におき、
今後の砂防事業の環境に対する基本的な方針を示すものです。

渓流環境整備計画の進め方

黒部川流域の環境特性の把握
「自然環境特性」「社会環境特性」「防災特性」
黒部川流域の各特性を調べ、その特徴を把握します

環境ゾーン区分
同じ様な特性をもつ範囲をまとめ
環境ゾーンとして区分します

基本方針の設定
区分された環境ゾーンごとに環境整備に向けての
基本的な考え方を明らかにし、
目指すべき渓流の姿をテーマとして示します

環境整備計画の策定
それぞれの渓流の環境特性にあった
砂防施設の整備の進め方を考えます

黒部川流域渓流環境整備計画基本計画書